

健康増進・疾患発症予防のための未病評価指標の開発

はじめに

神戸大学大学院医学研究科・地域社会医学・健康科学講座・AI・デジタルヘルス科学分野では、神科学技術振興機構(JST)の平成27年度事業である「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」の一環として、健常者を対象として取得した健康計測データを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

1. 研究概要および利用目的

科学技術振興機構(JST)の平成27年度事業である「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム」の一環として、健常者を対象として取得した健康計測データを活用し、健康増進・疾患発症予防に資する未病評価指標を探索的に検証します。

リサーチコンプレックスとは、地域において集積している研究機関、企業、大学等がそれぞれの活動を融合させ、異分野融合研究、成果の事業化、人材育成を進めるための複合型イノベーション推進基盤です。リサーチコンプレックスでは、「個別健康の最大化」をテーマに、将来にわたり健康で“生き生き”とした人生を送っていく上での「羅針盤」(健康支援機能)の提供を目指し、そのためのツールの構築を進めてきました。

そして、このプログラムの一環として、健常者を対象とした健康計測臨床試験(「個別健康最大化のための健康指標開発研究」)を行い、取得した3,971名のデータを活用し、当研究を行います。

本研究の成果は、健診・検診等に新たに実装することにより未病状態が客観的に把握・評価でき、早期の予防医療・先制医療に役立ち、人々の健康寿命延伸に貢献することが期待されます。

2. 研究期間

この研究は、倫理委員会承認日から2023年3月31日まで行う予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の項目について、既存情報を取得します。

個人情報、要配慮個人情報(病歴、職歴、学歴)、個人識別符号(対応表)、身体計測データ、体組成計測データ、生体信号計測データ、質問票データ、自律神経機能データ、認知機能計測データ、皮膚機能計測データ、呼吸ガス計測データ、血管機能計測データ、活動量計測データ、血液検査データ、歩行計測データ、尿検査データ

4. 研究機関

この研究は以下の研究機関と責任者のもとで実施いたします。

代表研究機関

神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 AI・デジタルヘルス科学分野
特命教授 樽林 陽一(研究代表者)

共同研究機関

理化学研究所 生命機能科学研究センター 健康・病態科学研究チーム
渡辺 恭良(研究責任者)、水野 敬

5. 外部への試料・情報の提供

理化学研究所へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 AI・デジタルヘルス科学分野の研究責任者が保管・管理します。

6. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、健康計測データは直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座 AI・デジタルヘルス科学分野が所管する、AI・デジタルヘルス推進室の鍵のかかる保管庫に保管します。

7. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 AI・デジタルヘルス科学分野
樽林 陽一(研究代表者)

共同研究機関

理化学研究所 生命機能科学研究センター 健康・病態科学研究チーム
渡辺 恭良(研究責任者)、水野 敬

8. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・非識別加工情報からのデータ収集のみであるため、特にありません。

9. 研究終了後のデータの取り扱いについて

この研究で取得した健康計測データは、論文等の発表から10年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、データ提供者が本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

10. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、データ提供者を特定できる情報は利用しません。

11. 研究へのデータ使用の取り止めについて

可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場

合、それ以降、健康計測データを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

12. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学大学院医学研究科(AI・デジタルヘルス科学分野) 担当者: 卯津羅 泰生
〒650-0047 神戸市中央区港島南町 1-5-6 神戸 BT センター
メールアドレス: yuzura@med.kobe-u.ac.jp

研究代表者:

神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 AI・デジタルヘルス科学分野
特命教授 樽林 陽一